

もくじ

えび人 vol.81	2	文化会館・市民ギャラリー	10
今号の表紙	3	相談	11
えび～にゃの市公式LINE		図書館	12
スタンプ「日常編」販売開始	4	子育て・HUGHUG赤ちゃん	14

「広報えびな」の共通マークとルール

- 日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
- 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
- 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
- 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます

市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



妹と一緒に習い事を頑張っています。中新田小学校 川野 菜さん(11歳)

写真

タイトル：秋立つ

撮影場所：今泉中学校付近

撮影者：国分北在住 篠原慶一さん



編集雑記

通勤途中の田園風景。いつもは気に留めないのですが、こっちは緑色の稲穂が垂れ、そのうち黄みがかってきたことに気が付きました。黄金色の田んぼは海老名の秋の代表的な風景です。その背景には農家さんの存在があります。人の営みが重なり合って海老名の風景が生まれていると私は感じています。実は沁みる情景がたくさんあります。(あ)



(写真上) 吟じる時は、世の中の流れや作り手の考えにも想像力を膨らませる

(写真中) みんなを盛り上げることが得意。練習や準備をする時間が大好き

(写真下) 横浜能楽堂は伝統を感じ緊張した思い出の舞台



調和を生み出す
ハーモニーを奏でたい

今月のえび人

おおがわらとしかず
大河原俊一さん
(中野在住・74歳)

民生委員・児童委員3期目。元中野自治会長。詩吟歴約40年。海老名と平塚で教室を主宰。海老名市吟詠連盟副理事長も務める。音楽好きで多彩なジャンルのバンド演奏を経験。

詩吟の師範を務める大河原さん。一念発起し、「地域デビュー」をしたのは定年間際の頃でした。「詩吟も地域活動もいろいろな趣味や性格の人と知り合えるのが魅力だな。教養の深さや人間性の面で仲間から学ぶことが多いし、何かあった時の安心感も大きいよね」
詩吟の腕を磨きつつ、民生委員としての学びも積極的に努めます。一方、イベントではエンターティナーな一面も。「喜ばせたいから真剣に練習するよ。普段はフォロワー役で前に出るタイプじゃないから、やり始めるとみんなびっくりする」とちやめつ気たっぴりに話します。大好きな音楽になぞらえたモットーは「ハーモニー」。「一人一人が正確な音を出す、つまり相手を思いやりながらそれぞれが自分の責任を果たすことで調和が生まれるんだ。そういうのが好きなんだよな」
蓄積された知識と生来の持ち味を生かし、理想のハーモニーを探索し続けます。